



すみだ
公明

かわらばん

公明党墨田総支部ニュース
みらいミーティング特集号
2025年4月発行

小さな声を聴く力

今こそ生活現場の声を政治へ! 質問総数約1000件

加藤まさゆき都議ら党墨田総支部、本年3月まで128回の地域懇談会開催

公明党墨田総支部は、『みらいミーティング』と銘打ち地域懇談会を開催。128会場で、加藤まさゆき都議ら議員が直接、“現場の声”“生活者の声”を徹底して聴いてまいりました。物価高・防災・子育て・高齢者・まちづくりなど、質問総数は約1000件に及び、今後はいただいた声から政策実現へ向けて、全力で取り組んでまいります。

みらいミーティング 質問ランキング!

- 1位 物価高対策
- 2位 防災対策
- 3位 子育て・教育
- 4位 高齢者支援
- 5位 民泊問題

ランキング
第1位
物価高対策

Q. 物価高で生活が大変!
個人所得が追い付いてない!



区内スーパーで消費者の声を聴く齊藤代表と加藤都議ら

A. 都議会公明党は、今後5年間で現役世帯の平均年収を「200万円アップ」をめざします。

東京都と経営者と労働者が集まる「公労使会議」を活用して、賃上げの合意形成をはかります。また中小企業が生産性をあげるための設備投資や、成果を賃上げにつなげた企業には補助率を上げるなど、賃上げしやすい環境を都議会公明党がバックアップし、社会全体の賃上げの流れにつなげていきます。

ランキング
第2位
防災対策

Q. 震災時に火災が起こったら、
どうしたらいいの?

A. 消火栓・排水栓にスタンドパイプをつなげた、消火活動が有効です。

最近でも、実際にスタンドパイプを使用した消防訓練をおこなっている町会を見かけるようになりました。排水栓を使った消火活動が可能になったことや、スタンドパイプの全町会への配布は、公明党の実績です。排水栓はこの10年で区内10か所から192か所に拡大。また押上駅の大踏切が高架化されましたが、高架化は街づくりや渋滞の緩和のみならず、防災という観点でも有効です。電柱の地中化も合わせて、防災対策に全力で取り組みます。



スタンドパイプと排水栓
(青いマンホール)

ランキング
第3位
子育て・教育

Q. 公明党はなぜ子育て支援に
力を入れているの?

A. 公明党は「子育て応援トータルプラン」を掲げ、2030年までにお金のかからない子育て社会をめざしています。

これまでも児童手当の創設や教科書の無料配布、奨学金制度の拡充などを実現。直近では、医療費無償化(高3生世代まで)や保育料無償化(本年10月から第1子も対象に)を推進。今後は、高等教育の無償化や、すべての子どもが英語を話せる“ネイティブ人材”を活用した英語教育の導入などに力を入れています。同時に子育てをしやすい社会環境も築いていきます。

ランキング
第4位
高齢者支援

Q. シルバーパスが高い!
すみまるくんも対象にしてほしい

A. 今年10月1日から、20,510円から12,000円へ、約4割引き下げを実現しました。

今回、suicaやPASMOといった交通系ICカードで利用できるようになり、一層使いやすくなります。今後はさらに区内循環バス(すみまるくん)でも利用が可能となるよう、取り組んでまいります。

ランキング
第5位
民泊問題

Q. 最近、民泊が増えて騒音やたばこの
ポイ捨てなど対策してほしい

A. 事業者に対する運用規制強化の検討、警察官OBなど巡回監視員を配置し、監視体制の強化を図ります。

1、ガイドラインの見直し 2、条例の制度 3、苦情や相談体制の整備を区議会公明党が強く求めました。

トピックス

墨田区発! ペットと“同伴避難”が可能に!

墨田区は23区で初めて、災害時におけるペットの“同伴避難”が可能になりました!これは学校法人立志舎 日本動物21(墨田区錦糸)が区と協定を結び、災害時に避難場所を提供するというもの。家族同様のペットの命を守るこの取り組みを、加藤まさゆきは都全体に広げてまいります。
※同伴避難…人間とペットが同じ場所で避難所生活ができること



もっと いい街 ー すみだへ!

旧都立忍丘高校堤分校跡地

平時 スポーツグラウンド
災害時 救助拠点

「都用地と区有地の相互売買」が実現し、未活用状態だった「旧都立忍丘高校堤分校跡地」(都用地)が、「スポーツグラウンド」として生まれ変わることが決定。大規模災害時には自衛隊などの救助拠点として活用されます。また、老朽化が著しい「向島警察署」を、現在の「区立東向島北公園」に立て替えをし、同公園は「旧向島中学校跡地」に再整備。これらは加藤都議が、都と区の双方から話を聞き、丁寧に調整を図ってきたもので、懸案であった課題が、大きく前進します。



これまでの都と区の連携実績

加藤まさゆき都議の実績は他の都議会議員と比べてもダントツです。これまでも、墨田区と連携し、都と区の間に入り、制度の目詰まりを修正させたり、時には都が「NO!」と突きつけた案件であっても、都議会各会派の調整役となって、全会一致で可決成立させてきました。

都区連携の重要性は財政面を見ても明らかです。墨田区の25年度一般会計予算約1430億円の財源内訳は、国が28%、墨田区が28%、その他2%に対し、東京都が実に42%となっており、東京都が最も大きく財政負担をしています。(図1参照)

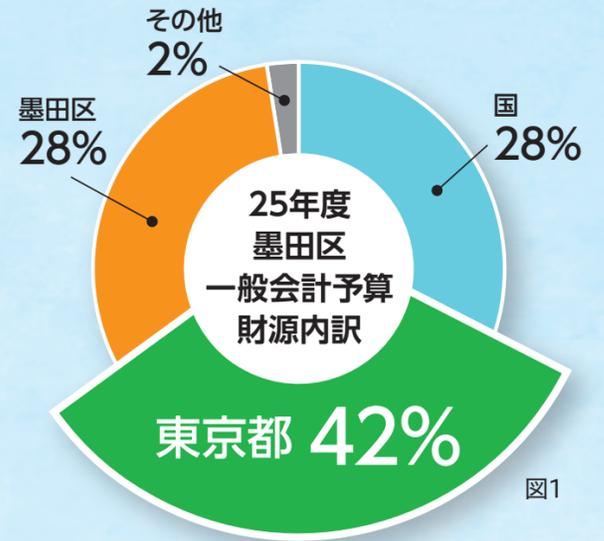


図1

表1 加藤まさゆき、都区連携の主な実績 (テーマ別)

テーマ	実績	内容
物価高対策	区立小中学校の給食費無償化	区が先行実施していた給食費無償化を都が半額財政支援
	高校生3年生までの医療無償化	25年度から高校生分は全額都負担で実現
熱中症&防災	2年間で区内全小中学校体育館にエアコン設置	・都がリース契約に補助(全国初) ・リース契約により、早期設置が可能に
感染症対策	コロナにおける墨田区モデル	病床確保と財源措置で支援



山本 区長 「加藤まさゆきは墨田にとってなくてはならない人!」

墨田区の山本亨区長は、加藤まさゆきYouTubeチャンネルに出演し「加藤都議はいつも区長室に足を運んでいただき、我々の話を聞いてくれる。これまでも学校体育館のエアコン設置やコロナ対策など、様々な重要局面で都区の調整に動いてくれた。頼りになるし、信頼している」と話しています。

行政へのニーズが複雑化してきている昨今、徹底した現場主義の視点で課題を拾い上げ、時には墨田区とも連携しながら、都政に現場の声を反映していく加藤まさゆき都議。今までも、そしてこれからも現場主義で皆様の声を実現してまいります。

山本区長のインタビュー動画は
コチラ

